

## 15. 2023年度日本数学会賞建部賢弘賞の推薦募集

下記の要領で第28回建部賢弘賞の推薦募集を行います。

### 1. 日本数学会賞建部賢弘賞に関する規定

(1)趣旨・種類 この賞は、若くして優秀な業績を挙げる等、数学研究の活性化に寄与している日本数学会会員を顕彰し、その研究を奨励する目的で制定するものとする。日本数学会賞建部賢弘特別賞（以下特別賞という）及び、日本数学会賞建部賢弘奨励賞（以下奨励賞という）の2種類を設ける。

(2)対象 「特別賞」は、特に優秀な業績を挙げた若い数学者に対し、その業績を顕彰する目的でこれを授与する。「奨励賞」は、極めて若くして優れた業績を挙げる等、数学研究の活性化に寄与した数学者に対し、その研究を奨励する目的でこれを授与する。

(3)件数 受賞者は、特別賞については年3名程度、奨励賞については年5名程度とする。

(4)選考 受賞候補者選考は日本数学会賞受賞候補者選考委員会(以下選考委員会という)が行い、理事長に答申する。

(5)推薦 日本数学会会員による自薦、他薦及び受賞候補推薦委員による推薦を行う。ただし選考委員会委員は推薦を行うことが出来ない。

(6)決定 理事長は選考委員会から答申された受賞候補者について理事会に諮り、受賞者を決定する。

(7)授賞 授賞式は秋季総合分科会において行う。

### 2. 推薦の資格等

(1)会員は、自分以外の35歳以下の会員を「特別賞」に推薦することができます。

(2)30歳以下の会員は「奨励賞」に自ら応募することができます。また、会員は自分以外の30歳以下の会員を奨励賞に推薦することができます。

(3)種々の困難な状況のもとで数学の研究を続け、日本数学会の活性化に寄与した会員も

建部賞の対象とします。受賞候補推薦委員は、このような会員を特別賞・奨励賞に推薦することができます。この推薦にあたっては被推薦者の年齢を制限しません。

(4)受賞者は、授賞時に会員であることとします。

(5)ここにいう年齢は、当該年度の4月1日付のものとなります。

(6)特別賞および奨励賞両方への重複推薦も可能とします。また、日本学術振興会育志賞への同時推薦も可能とします。(育志賞については、次の項目16をご覧ください。)

### 3. 推薦書類

次の①②を提出してください。

①日本数学会賞建部賢弘賞推薦票

(日本学術振興会育志賞推薦票共通様式)

②主要論文1編の別刷またはコピー1部

### 4. 推薦票について

前記3. ①の推薦票については、下記の要領により作成してください。

(1)推薦票の様式は、本号101頁にあるものをコピーして使用して下さい。または数学会ホームページ(以下URL)にリッチテキストファイル(Word, 一太郎等主なワードプロセッサで使用可能)、およびTeX(UTF8, Shift\_JIS)の推薦票様式を用意しております。

※数学会ホームページ:建部賢弘賞推薦票掲載  
<https://www.mathsoc.jp/activity/>

[awards/takebe/](https://www.mathsoc.jp/activity/awards/takebe/)

(2)推薦票には、自薦または他薦により下記の内容を含めてA4・3枚以内にまとめ、提出して下さい。

<自薦>これまでの研究の概略と今後の研究計画、論文リスト

<他薦>推薦理由、論文リスト

### 5. 推薦書類の提出期限等

(1)提出期限

2023年5月19日(金) (必着)

(2)提出先

郵送またはメールにより提出してください。

<郵送>封筒に「建部賢弘賞推薦」と朱記の上，日本数学会事務局まで郵送してください.

<メール>msjprize(at)mathsoc.jp (日本数学会事務局担当)宛てに推薦票のデータを送信して下さい.

#### 6. 授賞式

今回募集の受賞者の表彰式は，東北大学における2023年度秋季総合分科会第2日目を行う予定です.